

# 令和 7年度 事業計画書

事業局課	下水道河川局	施設管理課				新規拡充	<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 拡充	事業評価書番号	
歳出予算科目	下水道事業会計収益の支出	1	款	1	項	2	目	政策番号	38
事業名称	ポンプ場事業								
								施策番号	1

(単位：千円)

区分	金額	財源内訳				
		国	県	その他	企業債	下水道使用料等
令和7年度	3,480,438			19,078		3,461,360
補助事業						0
単独事業						0
令和6年度	3,538,932			17,339		3,521,593
増△減	△ 58,494	0	0	1,739	0	△ 60,233

歳出	令和4年度	令和5年度
予 事業費	3,326,154	4,296,853
算 企業債+下水道使用料等	3,309,284	4,279,643
決 事業費	2,271,502	2,286,821
算 企業債+下水道使用料等	2,254,536	2,269,611

令和8年度	令和9年度	令和10年度
3,656,580	3,716,580	3,776,580
3,656,580	3,716,580	3,776,580

事業概要 (アクティビティ)	12か所の汚水中継ポンプ場、14か所の雨水排水ポンプ場及び45か所のその他のポンプ場の維持管理。所管水再生センターへの汚水圧送及び雨水排水により、浸水の防止及び公衆衛生の向上を図る。							
事業指標① (アウトプット)	年度	4年度	5年度	6年度	7年度	8年度	9年度	10年度
ポンプ場揚水量	単位	目標	256,749,780	256,749,780	256,749,780	256,749,780	256,749,780	
	m3/年	実績	244,774,054	237,018,400				
事業指標② (アウトカム)	年度	4年度	5年度	6年度	7年度	8年度	9年度	10年度
ポンプ場揚水量	単位	目標	256,749,780	256,749,780	256,749,780	256,749,780	256,749,780	0
	m3/年	実績	244,774,054	237,018,400				
事業目的	ポンプ場では、雨水を速やかに排除することで浸水を防止するとともに、家庭などからの自然流下が困難な汚水を水再生センターへ送水します。主ポンプや自家発電設備などの主要設備については、予防保全型の維持管理により計画的な修繕を推進し、長寿命化を図ります。							
背景・課題	背景：当初、雨水及び汚水を排除することを目的として事業を開始。その後、昭和45年の下水道法改正において、公共用水域の水質保全が目的に追加されました。ポンプ場事業は下水道事業のうち「浸水防除」、「公衆衛生の向上」を目的とした事業です。 課題：施設、設備の老朽化による維持管理費の増加							
根拠法令・方針決裁等	地方自治法、地方公営企業法、下水道法、横浜市下水道条例、水質汚濁防止法、公害対策基本法、神奈川県生活環境の保全に関する条例、大気汚染防止法、ダイオキシン類対策特別措置法、廃棄物の処理及び清掃に関する法律、公害健康被害保障法							
根拠・データ等	令和5年度水再生センター等運転管理年報							
事業スケジュール	通年							
事業開始年度	昭和37年度							

(単位：千円)

細事業 (事業内訳)	細事業名称	7年度	6年度	差引(増減)	増減説明
	①	ポンプ場事業	3,480,438	3,538,932	▲ 58,494
②				0	
③				0	
④				0	
⑤				0	
⑥				0	
⑦				0	
⑧				0	
⑨				0	
⑩				0	
細事業合計		3,480,438	3,538,932	▲ 58,494	

本資料は、評価やデータなどを踏まえ検討し、公正・適正に作成しました。	課長	係長	北部管理担当
	大橋 洋明	後藤 大輔	青木 卓